

(3) 生物の移動を考えた配置

新しく管理を加えた森林や伐採した森林、そしてそのままの森林では生えている植物の量や種類が違います。手入れをして明るい環境を作り出しても継続的に、そして時々の伐採などの大きな変化がないと陽性植物は減少してゆきます。



常緑樹を伐って林床を明るくし林床植物を増やす作業

(4) 効果のある管理面積

同種の植物が一定以上存在し、開花結実が行われ、実生が続いて生えてくるなど、一定の地域で生育し続けるためには、それぞれの管理面積を0.1~0.3ha程度にし、ランダムに配置することが有効です。



管理され林床植物が増加している平地林



明るい林内環境で実生がたくさん生えている



乾燥する尾根近くの林床が明るい状態の林分